



Report 1

手作りの催しに多くの人 東城夜市



▲高校生のバンドライブ

歩行者天国となった街道東城路を会場に8月2日、「東城夜市」が行われました。

「自分たちが子どもだったころの夜市の楽しさ、あの頃のにぎわいを、今の子どもたちにも体験させてやりたい！引き継いで欲しい！」そんな実行委員の思いを詰め込んだ超大型「あんどん」が設置され、子どもたちが遊べるゲームコーナーや、高校生が会場づくりから進行まで全てをこなすバンドライブ、さまざまな出店やバザーなど、延べ600人が手作りの夜市を楽しみました。

Report 2

カーブを通じて庄原市をPR マツダスタジアムで特産品販売

プロ野球公式戦、広島東洋カーブ対阪神タイガースが行われた7月27日、マツダスタジアムで毎年恒例



▲にぎわう「かば広場」

となっている「庄原デー」が行われました。

当日は、マツダスタジアム内ライト側「かば広場」と、レフト側「ごりら広場」に設けられたブースで、庄原焼き、比婆牛の丸焼き、スムージー、カレーパン、ドーナツ、こんにゃく、鳥の塩焼きなど多くの特産品販売を通じて、満員の観客に庄原市をPRしました。

また、10月19日(日)に庄原市民会館で開催される第15回庄原こどもミュージカル「モモと時間どろぼう」に出演する子どもたちが、元気いっぱいダンスと歌でPRしていました。

庄原市カーブ応援隊の山根英徳事務局長は「出展者は猛暑にもかかわらず庄原市のPRに努めてもらった。今後もカーブを通じて庄原市の認知度を上げ、観光や定住にもつなげていきたい」と話していました。

Report 3

庄原豪雨災害を忘れないために 県北部建設事務所庄原支所が2小学校で防災出前講座

西城小学校・川北小学校で7月17・18日、広島県北部建設事務所庄原支所による「土砂災害に対する防災出前講座」が開催されました。

近年ゲリラ豪雨などの災害が多く発生する中、土砂災害から身を守るための知識や4年前に多くの爪あとを残した庄原豪雨災害について学びました。

職員による座学のほかに、砂防施設の模型実験や工事現場見学などの体験学習を行い、子どもたちは「土砂災害が起きた時の逃げ方や心の準備をしておくことがわかった」と真剣に学習に取り組んでいました。

庄原支所土木課の藤岡修一さんは「今後も防災出前講座を継続して実施し、庄原豪雨災害を忘れず、子どもたちの防災意識の向上を図っていきたい」と話していました。

出前講座での子どもたちが真剣に学習に取り組む様子は「広島県北部建設事務所庄原支所」の

ホームページ (<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/220/>) でご覧になれます。



▲模型実験の様子

Report 4 男女がアウトドアで楽しく交流 口和自治振興区青年部がアウトドアクッキング交流会

口和自治振興区青年部が主催するアウトドアクック



▲みんなで楽しくバームクーヘン作り

ング交流会が8月3日、口和ほたる見公園で行われ、男性13人、女性4人とスタッフ、計33人が参加しました。

このイベントは、同青年部が男女の出会いの場として企画。市内外の男女がダッチオープン料理、そば打ち、川魚バーベキュー、バームクーヘン作りなどのさまざまなアウトドア体験をしながら交流しました。中でもバームクーヘン作りは、時間と手間がかかりましたが、完成すると拍手が沸き起こり盛り上がりました。

参加した女性からは「さまざまな体験ができ、みんなで楽しく交流できました。また、参加してみたいです」と喜んでいました。

Report 5 オリジナルのパフェでキラキラスマイル 上高自治振興区が子どもクッキング

上高自治振興区主催による子どもクッキングが7月31日、高野福祉保健センターで開催され、20人の小学生が参加しました。

子どもたちは「キラキラパフェをつくろう」をテーマに、栄養士の坂口啓子さんからパフェの作り方や包丁の使い方を教えてもらいながら、思い思いのパフェをつくりました。

果物の切り方や、飾り付け、そして食べる量まで自分たちで考えて作ったパフェ。子どもたちにとって最高に「キラキラ」なパフェとなったようで、子どもたちの笑顔もキラキラと輝いていました。

上高自治振興区のエリカ千恵事務局長は「子どもクッキングはすぐ定員に達する人気企画。習った料理を家庭で作る子もいるという話を聞いてうれしい。何でも自分で作ることはいい経験になるので、これからも続けていきたい」と話していました。



▲考えながらパフェ作り

Report 6 見て触れて知って楽しむ 吾妻山グリーンラリー



▲樹木を調べる子どもたち

樹木の名前を調べながら吾妻山を散策し、設定時間でのゴールを目指す、第26回吾妻山グリーンラリーが8月8日『はっばの日』に開催され、市内外から50人が参加しました。

本来ならば吾妻山の大自然の中で行われますが、当日はあいにくの雨と台風11号も接近していることから、比和自然科学博物館で行われました。

参加者は実際に見たり触れたりしながら樹木について学習し、その後グループごとに施設内の決められた箇所に置かれた樹木が何かを調べて回答していきました。樹木の特徴など細かい部分まで観察しながら、大人も子どもも真剣に取り組んでいました。

参加者は「冷房の利いた施設で違和感はあったけど、検索しているときは吾妻山にいるようだった。次回はもっと勉強して吾妻山でやりたい」と意気込んでいました。



Report 7

覚えてね！毎月19日は食育の日 総領町食生活改善推進員が減塩レシピでPR



庄原市生活習慣病健康診査集団健診が実施された7月22日、総領健康福祉センターで食育ボランティアの総領町食生活改善推進員6人が、「食育の日」をPRしました。

推進員は、庄原市食育推進計画（第2次）の概要版とひじきご飯のレシピ、食育のチラシを手渡して、「毎月19日は食育の日、おいしく食べて健康に」とPR。健診を済ませた住民の皆さんに、温かい減塩みそ汁とひじきご飯の試食を提供しました。「ひじきご飯、薄味でおいしいね」「みそ汁はかつおだしが利いてるね。塩分控えめもおいしいね」と好評でした。

◀総領町食生活改善推進員の皆さん

Report 8

迫力のパフォーマンス 広島県警察音楽隊演奏会

広島県警察音楽隊による演奏会が7月16日、総領町の里山総領体育館で開催され、総領保育所、総領小学校、総領中学校の子どもたちや地域住民など約200人が参加しました。

広島県警察音楽隊は27人で構成され、きゃりーぱみゅぱみゅのメドレーから始まり、子どもの好きなディズニーやジブリの名曲などを演奏し、会場を盛り上げました。

演奏会後半は迫力あるドリル演奏に合わせて、「女性カラーガード隊員」がフラッグを巧みに操りながら美しい演技を行い、演奏に彩りを添えました。

参加した子どもたちは、身を乗り出し、体でリズムをとりながら音楽隊のパフォーマンスを楽しんでいました。



▲迫力のドリル演奏にくぎづけ

Report 9

大自然を舞台にトップアスリートに挑戦！ 第15回ひろしまクロスカントリー大会

「第15回ひろしまクロスカントリー大会」が8月23日、西城町三坂の道後山高原クロカンパークで開催され、県内外から1,866人がエントリー、伴走者



▲大自然をさわやかに駆け抜ける選手たち

を含めおよそ2,000人のランナーが道後山高原を駆け抜けました。

競技種目は親子で参加できる1kmファミリーの部から5kmの部までの4種目と、日本のトップアスリート選手が出場する8kmまでの合わせて全5種目、年齢・性別ごとに34部門に分けられます。「全国小学生クロスカントリーリレー研修大会広島県予選」も兼ねており、県内のキッズアスリートも多数参加。招待選手は、県内外の実業団のうちJFEスチール、中国電力、中電工、マツダ、NTT西日本の5団体から出場し、競技をおおいに盛り上げました。

トップアスリートへの挑戦に闘志を燃やす人や、自己の記録に挑戦する人、友人・家族とレジャー感覚で楽しむ人など、参加者は道後山に広がる大自然のコースを楽しみました。